

## 平成28年度 第12回淀川区地域自立支援協議会 相談支援部会

日時：平成29年3月1日（水）10:00～12:00

場所：淀川区役所5階 504会議室

参加者：楠・川村・元橋（あい・すまいる淀川）早田・明智・小泉（淀川区障がい者相談支援センター）荒木（ゆいまーる）中村（やぐるま草）岩部（あじさい）萱野（ナービス）吉岡（ミード）萩原（COCOLO）  
※順不同

### 検討事項

#### 1. 運営委員会からの報告

##### ■2/9（木）『はたらく・くらしフェスタ』

- ・前回（昨年2月実施）より来場者増。アンケートも前向きな回答が多かった。一方で、相談ブースの大きさ（1ブースでも十分）、学校関係者の来場が少なかった、体験コーナーでの机の高さへの配慮などの課題が残された。また、各事業所等からのパンフレットの提供が少なかった。次回も協力をお願いしたい
- ・次回6月末実施に向けて調整中。予算の関係でチラシはPDFで作成、必要枚数を各自印刷してもらうことになりそう。詳細は追って報告

##### ■次期役員の選出ほか

- ・次回（3/21）の運営委員会で次年度の役員と引き継ぎを予定。役員の選出の仕方（自薦他薦など）をオープンにしたいとの意図あり。役員以外でも都合が付けばぜひ出席をお願いしたい
- ・障害児関係の事業所が増えていることもあって、こども支援部会の参加事業所も増加。会議室が満員になるぐらいだが、年度末でもあるので障がい児相談支援事業所にもこども支援部会への参加をお願いしたい

#### 2. 計画相談支援の実施状況

- ・障害者159件、障害児45件。毎月平均17件程度作成。新規の受け入れは止めているが、家族や他の事業所経由で問い合わせあり。断ってはいない
- ・障害者9件。障害児の依頼は増えている
- ・障害者80～90件、障害児20～25件。受け入れの限界を超えている。聞き取りするだけで精いっぱい。モニタリングだけは実施。先日過労で倒れてしまったが、ヘルパーさえ集まらない状況で相談支援専門員の増員は無理
- ・障害者26件、障害児4件。新規の依頼は随時受けている
- ・障害者105件。以前から受け入れは止めているが、時々関係機関から打診あり。調整が必要な場合が多いので極力受けるようにしている
- ・障害者25件、障害児6件。急ぎでない場合は受けている。地域包括や保育所を運営しているため、介護保険のみなし2号の人や保護者等を経由しての依頼も多い
- ・障害者90件程度。計画相談とモニタリングを毎月平均10件程度ずつ実施。

新規の受け入れはストップ。元々110件ぐらいだったが、90件台になって動けるようになってきた。触法関係の相談も少しずつ増えている

### 3. 実地指導の報告

- 立ち上げてから1年以内の事業所を優先して実施しているとのこと。9時から16時まで終日にわたって、細部に至るまで確認（運営規程、重要事項、サービス提供状況、ケース記録の記載内容、タイムカードの時刻、身分証明書、各マニュアル、研修の実施状況、個人情報同意書の取り扱い、書類ごとの「印鑑」の確認など）
- 相談支援事業は他の事業に比べるとまだ厳しくないとのこと

### 4. 事例検討および情報提供

- 室内にゴミや荷物が山積み。火事の危険性などが高いため片づけが必要だが、サービスの受け入れを拒否
- 自宅の浴室が狭く、入浴介助や訪問入浴が困難。入浴だけ実施している生活介護は無いのか？
- 事業所等の見学に関して、計画相談に反映されていれば初回のみ通院介助の利用が認められている。体験実習に関しては移動支援で対応可能

### 5. 来年度の研修について

- 前回「親亡き後」を中心にテーマを仮決めしたが、定義が明確ではない言葉（自立）の使用は控えた方が良いのでは？表現もやわらかいほうが  
→『地域でくらす あたり前の生活をめざして』（仮）へ変更
- 主に家族、当事者を対象とするが、支援者等の参加もOK
- 前々回（知的部会担当）も家族を対象に実施したが、質問がグループホームの利用に集中。そのため現状の説明（数が不足している）をせざるを得ず、やや後ろ向きの内容になってしまった。本当は他にも選択肢があるはずだが、情報が行き届いていない。今回は安心材料を示せると良いのでは？
- 障害の「重度」「軽度」を問わず、一人暮らしの実例を支援者（2名）、当事者（1名）それぞれの立場から紹介できると良い。紹介しきれないものは配布資料で補足
- 次回、開催時期や話題提供者の調整など検討

次回 4月5日（水）10:00～12:00 淀川区役所6階 602会議室